

賃金水準の持続的引き上げに向けた 山梨県の考え方

県民一人ひとりが豊かさを実感できるやまなしを目指して



1. 県民所得の着実な向上 に向けた3本柱

賃金水準の持続的な引き上げに向けた山梨県の考え方

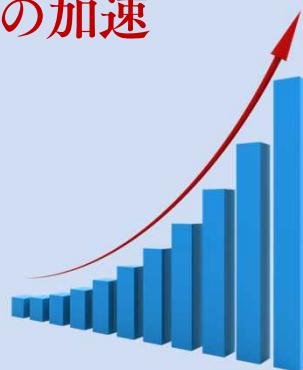
大きな波にも揺るがない確かな生活基盤を築くため、県民所得の着実な向上が必要です

県は3本柱の施策を進め、所得向上の実現に向け先頭に立ちます

01 賃金水準の持続的引き上げ

頑張れば報われるが
当たり前の社会に

- ✓ 最低賃金を含めた賃金水準全体の引き上げ
- ✓ スリーアップ好循環の加速



02 生産性の向上

企業が自ら賃上げの原資
を生み出す力を高める

- ✓ キャリアアップ・ユニバーシティによるスキルアップ
- ✓ DX、設備投資の支援
- ✓ 実情に寄り添った経営指導



03 労働参加率の向上

生産年齢人口の減少を補い
県全体の稼ぐ力を底上げ

- ✓ ケアラー支援
- ✓ 困難な状況にある方の就労支援



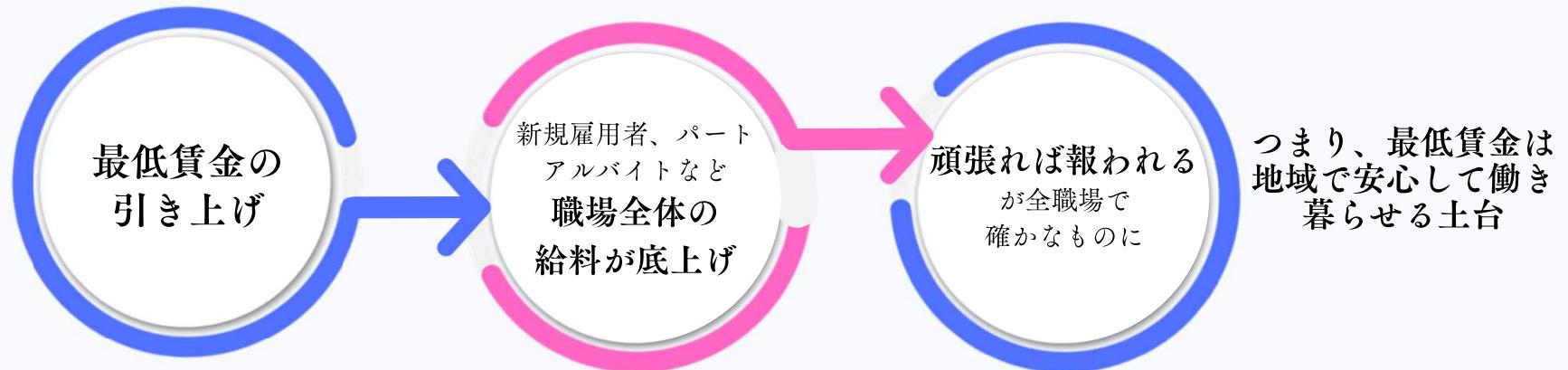
人への投資、産業基盤の強化を一層加速させ、

一人ひとりの稼ぐ力を底上げする中長期的戦略を実行します

2. 最低賃金引き上げの意義

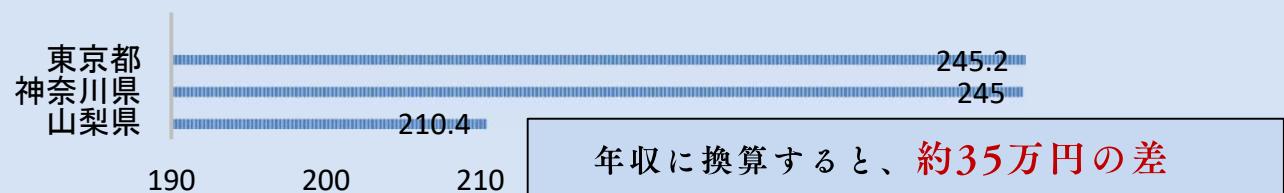
賃金水準の持続的な引き上げに向けた山梨県の考え方

最低賃金は、給料アップの好循環を生み出す最初の歯車です



しかし

山梨県の最低賃金は、近隣都県と大きな格差があります



このままでは……

若者・子育て世代の流出に伴う人材不足



購買力抑制による消費の減退

地域経済全体の停滞を招いてしまいます

3. 最低賃金は上げられないのか

賃金水準の持続的な引き上げに向けた山梨県の考え方

最低賃金アップを巡って、経営者の皆さんには3つの懸念を抱いています

01

人件費を支払えず
雇用が減る

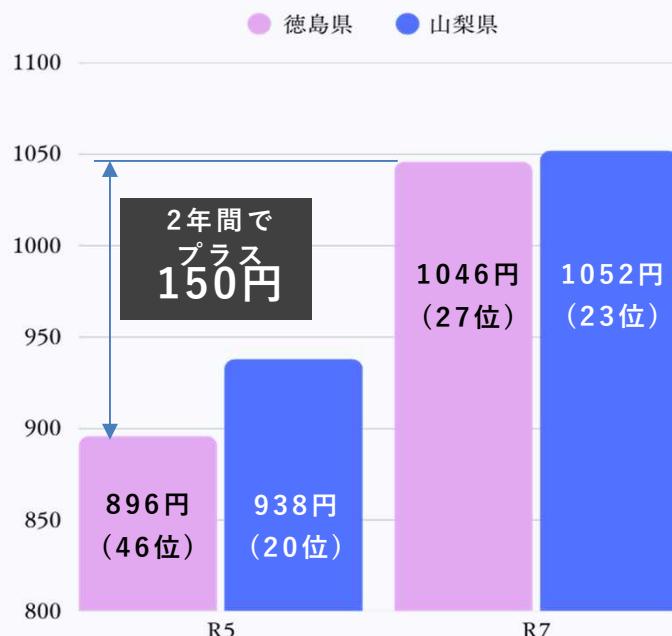
02

経営が悪化し
倒産する

03

障害者や高齢者の
雇用機会が
奪われるのでは？

こうした中、徳島県は最低賃金の決定に積極的に関わり大幅アップを実現しました



150円増額は、引き上げ額・増加率ともに全国1位
※特にR6最低賃金は目安額（50円）を34円上回る84円の大幅増

最低賃金の引き上げの影響で、
徳島県内は賃金アップが相次ぐなどして……

徳島県の実質賃金は
R6年8月からR7年6月まで
11ヶ月連続でプラスになりました
(山梨県はほぼマイナスで推移)

4. 最低賃金アップの影響と山梨県の対策

賃金水準の持続的な引き上げに向けた山梨県の考え方

3つの懸念に対し、徳島県ではどのような影響があったのでしょうか

01 人件費が支払えず 雇用が減る

徳島県の有効求人倍率は
1以上(求人数 > 求職者数)を維持



人がいないと事業が回らない。
今は生産性を上げる
努力をしています

02 経営が悪化し 倒産する

民間調査会社のデータで
倒産の急増は見られず



取引先も最低賃金アップを
知っているので
価格転嫁交渉が楽になりました

03 障害者や高齢者の 雇用機会が奪われる

若者に好評。外国人材の流出
防止、障害者・高齢者の
所得向上に寄与



手取り額が増えました！
欲しかったものが買える！

設備投資への
支援

専門人材活用
への支援

人材育成への
支援

市場開拓等
新たなチャレンジ
への支援

この他にも、経済団体と連携して価格転嫁にも取り組んでいきます